

- ▶ 仙北市では、森林所有者が経営管理できない場合において森林所有者の委託を受けて仙北市が自ら経営管理を行ったり、または、意欲と能力のある林業経営体に再委託することで、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、もって林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に資することを目的とします。
- ▶ 令和3年度は、令和2年度に策定した経営管理権集積計画の公告・縦覧によって仙北市が経営管理権を取得しました。また、森林経営管理制度に基づき、経営が見込まれない森林については市町村森林経営管理事業により切り捨て間伐を実施しました。
- ▶ 令和4年度においては、令和3年度に策定した経営管理権集積計画の公告・縦覧によって仙北市が経営管理権を取得し、森林経営管理制度に基づいて、森林整備を進めていくこととしています。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

・経営や管理が適切に行われていない私有林人工林の所有者に対し、森林経営管理の意向を調査しました。

【事業費】 8,800千円

【実績】 292.44ha

2 森林経営管理権集積計画の策定

・令和元年度に実施した意向調査の結果に基づき、森林経営管理権集積計画を策定しました。

【事業費】 9,460千円

【実績】 47.52ha



(林況調査の状況)

□ 事業スキーム

- 1 地域林政アドバイザー業務を委託し、意向調査を実施するための対象森林を抽出します。
- 2 地域林政アドバイザー業務により抽出された森林について、森林経営管理制度に基づき意向調査を実施します。
- 3 前年度に実施した意向調査の結果に基づき森林経営管理権集積計画を策定します。
- 4 経営管理権を取得した森林の整備を進めます。

□ 工夫・留意した点

- ・森林簿を活用し、意向調査対象森林を抽出しました。
- ・地域林政アドバイザー（仙北東森林組合にアドバイザー業務を委託）と協議し、間伐が遅れている・適正な管理をしていないなど、地域の実情に応じて優先順位を決定し、また、現場踏査による確認により、混交林や非森林などを調査対象外としました。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	55,959千円
②私有林人工林面積（※1）	9,924ha
③林野率（※2）	83.7%
④人口（※3）	24,610人
⑤林業就業者数（※3）	195人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より